

平成 30 年度

まちづくり活動助成 活動視察

団体名 水辺とまちの入口研究所

「堀川デザインコード研究会」

テラスセ納屋橋に地域参加スペース「川縁（かわべり）」が設置されたのを機に、ナゴヤの水辺のあり方を考える団体を発足。「堀川デザインコード研究会」という研究活動をスタートさせ、堀川らしさを明らかにし、水辺とまちのつながりを深めていこうとしています。

■活動の内容

「川から見つける堀川らしい風景探し展」◇堀川ギャラリー（名古屋市中区錦 1-15-17）

◇展示期間◇2019 年 1 月 22 日（火）～2 月 11 日（月）

「堀川らしいって何だろう？堀川らしい風景を作り出している構成要素を集めてみよう」をテーマに研究を続け、平成 30 年 10 月に名古屋都市センターで『堀川らしい風景を語りあう会』を開催し、そこで発表された研究の成果をパネルにまとめた展示会が、中区納屋橋のたもとにある「堀川ギャラリー」で開催されました。



会場では、研究成果であるパネルをまとめた冊子も来場者に配布され、市内の中学生の社会見学のグループから、堀川で活動をしている他の団体の方々、行政関係の方など多くの方が訪れ、パネルを見て初めて知った堀川のことなどへの感想や、団体の皆さんの活動に対する温かい応援メッセージがアンケートに残されていました。



団体のみなさんには、今後も「堀川」という都心を流れる川の水辺の魅力をいろいろな視点から研究していただき、その研究の成果を、市民をはじめ、訪れる人たちが、より楽しめるように、制作した冊子を活用し発信するとともに、堀川沿いの企業や、他の団体、行政とも連携し活動を広げていただけたらと思います。

（写真：完成した冊子を手にする団体の皆さん）

